

# XML エディタ

## ユーザースガイド

【XML エディタ 操作手順書】

-目次-

1. はじめに.....	- 2 -
2. マニュアルの表記規則 .....	- 2 -
3. 操作方法.....	- 3 -
XML エディタの起動.....	- 3 -
メイン画面.....	- 3 -
新規作成 .....	- 4 -
既存ファイルの編集.....	- 5 -
XML エディタの終了 .....	- 5 -
4. 画面の説明 .....	- 6 -
メイン.....	- 6 -
テキストの入力.....	- 6 -
リストの入力 .....	- 7 -
日付の入力.....	- 7 -
機能.....	- 7 -
メニュー .....	- 8 -
基準案選択.....	- 10 -
機能.....	- 10 -
プロパティ.....	- 11 -
機能.....	- 11 -

## 1. はじめに

「XML エディタ」は、ボーリング交換用データ・機械設備の施設台帳ファイル・機器台帳ファイル等の、電子納品の際に必要な XML ファイルの作成・編集を支援します。

## 2. マニュアルの表記規則

特定の語句や画面上の文字などは、・・・「○×」画面  
カギ括弧で表記されます。

画面上の操作ボタンなどは、括弧で表　・・・[○×]ボタン  
記されます。

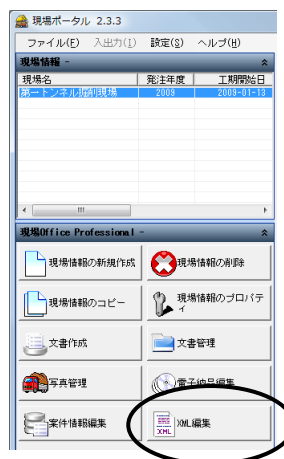
### 3. 操作方法

#### XML エディタの起動

デスクトップ上の[現場ポータル]のアイコンをダブルクリックすると、現場ポータルが起動します。

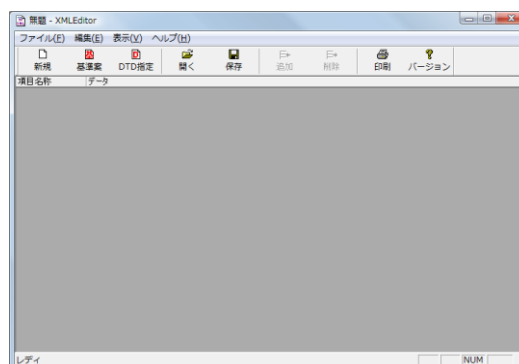


対象となる現場情報を選択し、[XML 編集]をクリックします。すると、XML エディタが起動します。



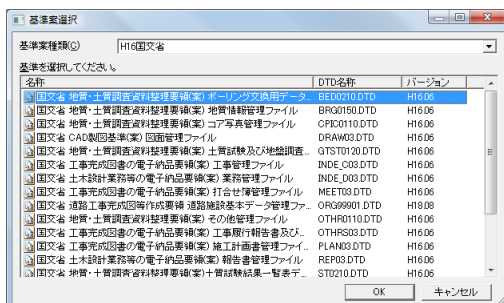
#### メイン画面

起動すると最初に「[メイン画面](#)」が表示されます。

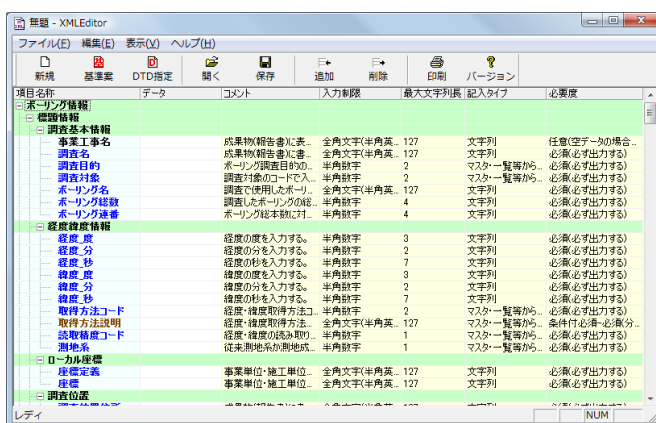


## 新規作成

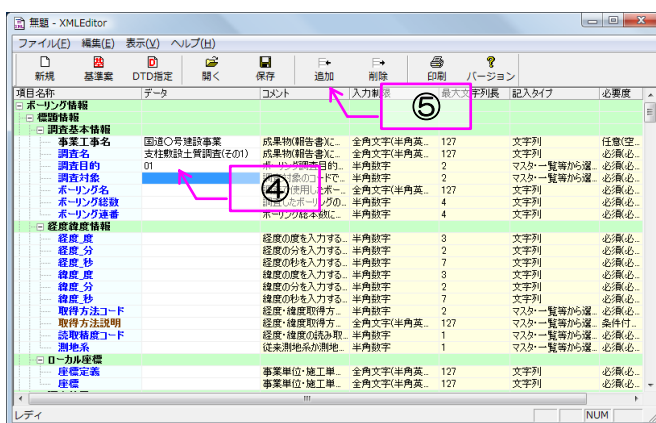
- ① [基準案]をクリックします。
- ② 「**基準案選択**」画面が表示されますので、作成したいXMLファイルに該当する基準案種類とファイル名称を選択します。



- ③ 編集エリアが、選択されたXMLファイルを編集するための状態に変化します。



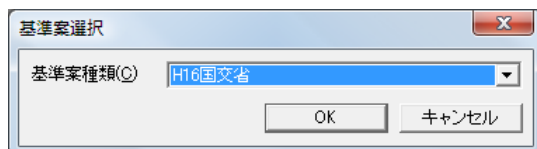
- ④ 編集エリアの「データ」列に適切な値を入力します。
- ⑤ 繰り返しの項目を新規に追加したい場合は、[追加]をクリックします。



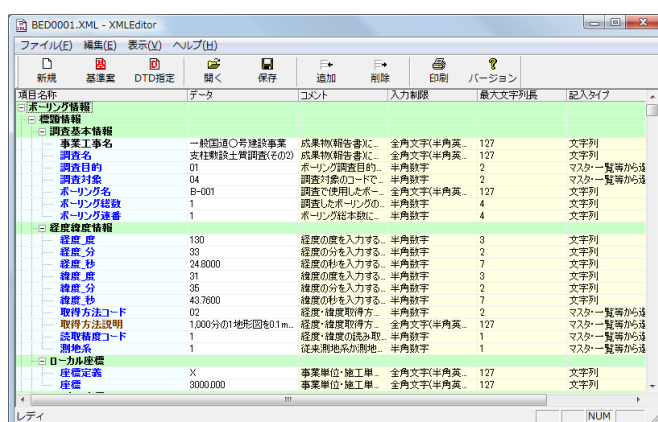
- ⑥ [保存]をクリックし、保存先を指定してXMLファイルを保存します。

### 既存ファイルの編集

- ① [開く]をクリックします。
- ② ファイル選択ダイアログが表示されますので、編集したいXML ファイルを選択します。
- ③ 基準案選択ダイアログが表示されますので、該当する基準案種類を選択します。電子納品用途以外のXML ファイルを編集する場合は、「(なし)」を選択します。



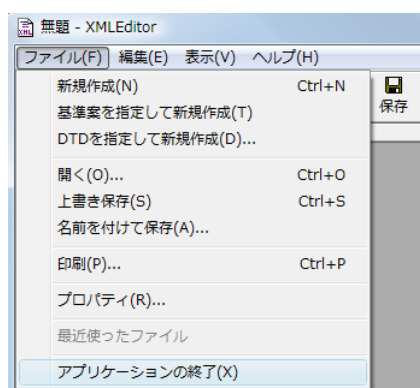
- ④ 編集エリアが、選択されたXML ファイルを編集するための状態に変化します。
- ⑤ 編集エリアで必要な「データ」列を編集します。



- ⑥ [保存]をクリックします。

### XML エディタの終了

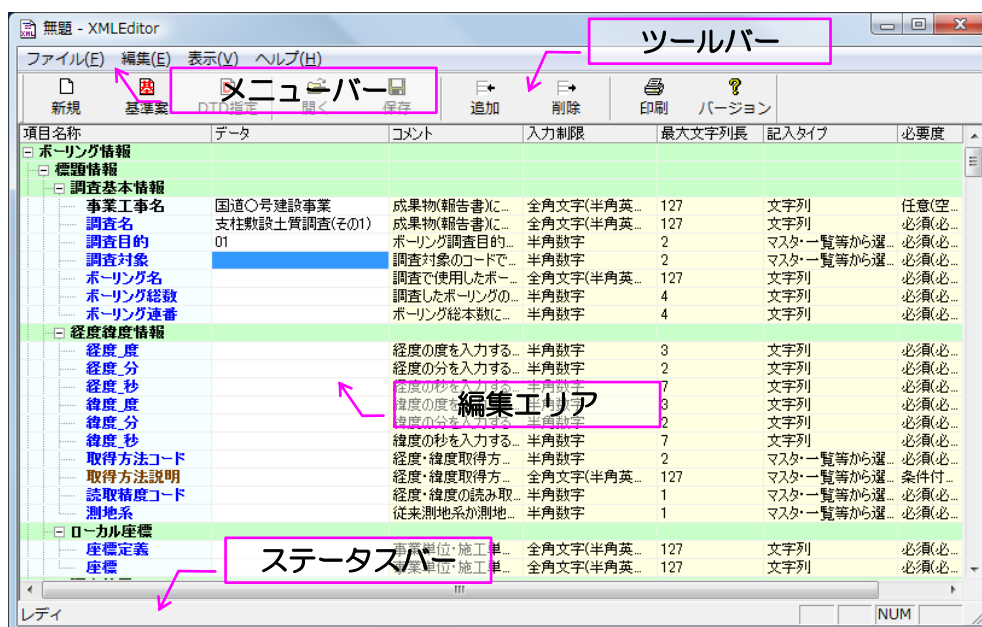
メニューの[ファイル(F)]>[アプリケーションの終了(X)]を選択するか、画面右上の[X]ボタンをクリックして終了します。



## 4. 画面の説明

### メイン

起動後、最初に表示される画面です。基本的な操作を説明します。



メニューバー

各種機能を実行するメニューを表示します。

ツールバー

各種機能を実行するボタンを表示します。

編集エリア

XML ファイルを編集するためのインターフェイスを提供します。

ステータスバー

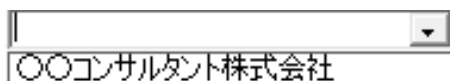
選択されているメニュー・ボタンの説明等を表示します。

### テキストの入力

**調査会社\_名称** ○○コンサルタント株式会社

項目をダブルクリックするか、選択して「F2」（ファンクションキー）を押すと編集状態になり文字を入力できます。

選択してスペースキーを押すか、[▼]をクリックすると過去に入力した値の一覧が表示され選択できます。



## リストの入力

測地系

項目をダブルクリックするか、選択して「F2」（ファンクションキー）を押すと編集状態になり文字を入力できます。

選択してスペースキーを押すか、[▼]をクリックするとリストの一覧が表示され選択できません。



## 日付の入力

調査期間\_開始年月日

選択して「F2」（ファンクションキー）を押すか、[▼]をクリックするとカレンダーが表示され選択できます。



## 機能

### 新規

XML ファイルを新規に作成します。  
DTD が指定されている場合には、その定義を使用します。

### 基準案

「[基準案選択](#)」画面を表示します。

### DTD 指定

XML ファイルの定義として使用する DTD ファイルを指定します。

開く	既存の XML ファイルを開きます。 また、該当する基準案種類を選択します。
保存	作業中の XML ファイルを保存します。 既存の XML ファイルの場合は上書き、新規の XML ファイルの場合は新しい名前で保存します。
追加	選択されている項目に子項目を追加します。 DTD が指定されている場合は、追加可能な項目の一覧が表示され選択できます。
削除	選択されている項目を削除します。
印刷	編集エリアに表示されている内容を印刷します。
バージョン	「バージョン情報」画面を表示します。

## メニュー

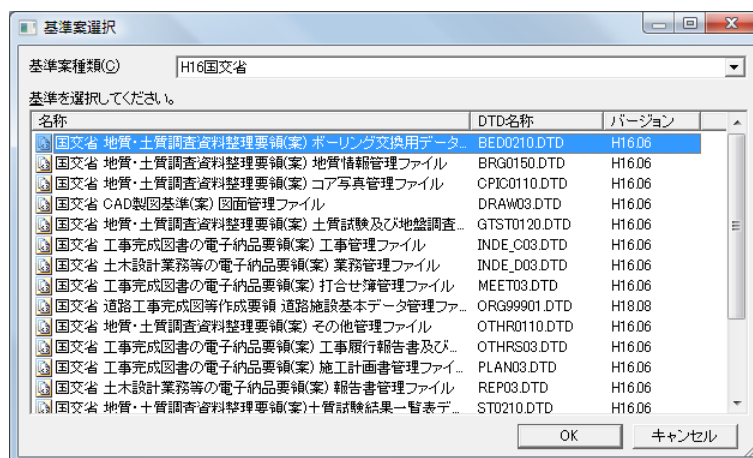
---

ファイル(F)	
新規作成(N)	XML ファイルを新規に作成します。 DTD が指定されている場合には、その定義を使用します。
基準案を指定して新規作成(T)	「 <a href="#">基準案選択</a> 」画面を表示します。
DTD を指定して新規作成(D)...	XML ファイルの定義として使用する DTD ファイルを指定します。
開く(O)...	既存の XML ファイルを開きます。 また、該当する基準案種類を選択します。
上書き保存(S)	作業中の XML ファイルを上書きして保存します。
名前を付けて保存(A)...	作業中の XML ファイルを新しい名前で保存します。
印刷(P)...	編集エリアに表示されている内容を印刷します。

プロパティ(R)...	「 <a href="#">プロパティ</a> 」画面を表示します。
アプリケーションの終了(X)	アプリケーションを終了します。
<b>編集(E)</b>	
項目追加(A)	選択されている項目に子項目を追加します。 DTD が指定されている場合は、追加可能な項目の一覧が表示され選択できます。
項目削除(D)	選択されている項目を削除します。
<b>コードマスタ(C)</b>	
<b>表示(V)</b>	
ツールバー(T)	ツールバーの表示・非表示を設定します。
ステータスバー(S)	ステータスバーの表示・非表示を設定します。
ツールバーの文字列(A)	ツールバーの各ボタン文字列の表示・非表示を設定します。
<b>ヘルプ(H)</b>	
ヘルプ(H)...	ヘルプファイルを表示します。
バージョン情報(A)...	「バージョン情報」画面を表示します。

## 基準案選択

基準案選択画面での基本的な操作を説明します。



## 機能

基準案種類	作成目的の電子納品基準(案)を選択します。
XML ファイル一覧	選択された基準案種類で規定されている XML ファイルが一覧表示されますので、作成する XML ファイルを選択します。
OK	一覧で選択されている XML ファイルを適用し、画面を閉じます。
キャンセル	画面を閉じます。

## プロパティ

プロパティ画面での基本的な操作を説明します。



## 機能

ファイル情報	作業中の XML ファイルの各種情報を表示します。
OK	画面を閉じます。
キャンセル	画面を閉じます。